

全教科についての指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

教科名		国 語	
	指導方法の課題分析 (学習における児童の実態等)	具体的な授業改善策	改善状況 ◎○△
第1学年	○読み解く力(取り出す力) ・文章の順序や内容を一緒に追っていくと大半の児童は理解できている。しかし、様子や気持ちを想像するには個別支援が必要な児童もいる。 ・平仮名の読み書きが不十分で、文章の意味を正しく理解できていない児童もいる。また、設問の意味を読み取れず、記憶を頼りに思いつきで答えることもある。	○読み解く力(取り出す力) ・文章の読み取りの際、言葉を頼りにしながら内容を読み取る学習を繰り返す。また、音読をする中で言葉の楽しさを十分味わわせる。 ・読み聞かせの時間を週に1回程度もち、読書を通して文章に慣れることで、豊かに想像する力を育てる。 ・文字の学習に年間を通して継続的に取り組む。	
第2学年	○読み解く力(取り出す力) ・音読を通して、文章の順序や内容を一緒に追っていくと大半の児童は理解している。しかし、場面の細かな様子や、登場人物の気持ちを理解することには個別の支援が必要な児童がいる。 ・語彙に乏しく、文章の意味を正しく理解できない児童もいる。	○読み解く力(取り出す力) ・声に出して繰り返し読む。登場人物の気持ちや場面の順序を捉えられる文章にサイドラインを引くことで、重要な箇所を可視化する。 ・意味が捉えにくい単語には、その横に他の単語で言い換えた言葉を書き、語彙を増やす。	
第3学年	○読み解く力(解決する力) ・評価テストでは、思考・判断・表現の得点が80%の児童が約20%いる。物語文では、主人公や登場人物の気持ちを考えることが苦手である。	○読み解く力(解決する力) ・登場人物の気持ちを選択肢で選べるようにする。選択肢が必要かを問い、徐々に選択肢をなくせるようにする。	
第4学年	○読み解く力(取り出す力) ・説明文では、段落ごとに内容を要約する活動を行ったが、苦手意識をもつ児童が多くいた。 ・物語文では、多くの児童が場面に沿った情景や心情を読み取ることができる。 ・言語事項では、漢字を書いたり文章の中で使ったりする力がまだ不十分である。	○読み解く力(取り出す力) ・段落ごとに重要な文を意識して読ませる。小見出しや要点をまとめさせることで内容を整理する。 ・漢字テストを合格まで継続的に取り組むようにし、着実に身につけられるようにする。	
第5学年	○読み解く力(取り出す力) ・説明文では、文章構成を捉えたり、要旨を的確にまとめたりすることを中心に学習を進めた。重要な箇所を自分で捉える力が身に付いてきたと感じる。 ・自分の考えを書く際に、叙述を根拠にして書くことに困難を感じる児童がいる。	○読み解く力(取り出す力) ・教科書や全文が記載されているプリントにサイドラインを引き、重要な文章を可視化して読み取りを深めていく。 ・自分の考えを書く際は、型などを提示しながら的確にまとめられるように指導する。	
第6学年	○読み解く力(表現する力) ・児童にとって身近な内容に対しては、抵抗なく学習に取り組み、読み取ることができている。 ・文章を読んで、自分の考えを書いたり、表現したりすることに対して得意だと感じている児童もいるが、苦手意識をもっている児童のほうが多い。 ・文章を上手に書こうとするあまり、文章を書くことに抵抗感が強い。	○読み解く力(表現する力) ・どのように書くとよいか例示があると、文章の書き方が理解でき、次の学習に繋げられる。	

全教科についての指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

教科名		社会	
	指導方法の課題分析 (学習における児童の実態等)	具体的な授業改善策	改善状況 ◎○△
第3学年	○読み解く力（取り出す力） ・評価テストでは、思考・判断・表現の得点が80%以下の児童が約25%いる。問いに対して、図や表から必要な情報を取り出したり、選んだりすることが難しい状況である。	○読み解く力（取り出す力） ・図や表の読み取り方を丁寧に行ったり、友達と問いを出し合い、答えられたりする機会をもつ。	
第4学年	○読み解く力（解決する力） ・表やグラフから数値の大小や変化を読み取ることではできているが、読み取った事柄を関連づけて表現する事には課題が見られる。	○読み解く力（取り出す力） ・教科書の資料の読み取りや調べ学習などを通して、必要な情報を取り出して話し合う活動を繰り返し行う。 ・新聞づくりの際に、表やグラフを活用したり、それらの資料から読み取ったことを表現したりできるようにする。	
第5学年	○読み解く力（解決する力） ・教科書や資料集の表やグラフから数値の変化を読み取ったり、そこから推測されることを考えたりして学習を進めている。 ・数多くある資料から必要な資料を選ぶ力に課題がある。	○読み解く力（解決する力） ・学習で使う表やグラフを厳選して提示したり、どの表やグラフが必要かを検討する時間を学級で確保したりして、主体的に学べる時間を増やしていく。	
第6学年	○読み解く力（取り出す力） ・歴史的事象を覚えることはよくできている。児童も意欲的に取り組んでいる。 ・歴史的事象の多くの資料の中から、必要な情報について調べ、取り出し、大切な事柄について読み解くことやまとめることが苦手な児童がいる。	○読み解く力（取り出す力） ・個別に指導が必要な児童に対しては、課題に対してどのような調べ方をしたらよいのか、見るポイントやキーワードを明確にさせるなどの支援を行う。	

全教科についての指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

教科名	算 数		
第1学年	<p>指導方法の課題分析 (学習における児童の実態等)</p> <p>○読み解く力(読み取る力) ・文章題では、問題を読み取る力の不足が原因で、正しく立式できていないことがあると考えられる。</p>	<p>具体的な授業改善策</p> <p>○読み解く力(読み取る力) ・キーワードを整理しながら、繰り返し学習経験をさせ、多くの問題にふれ、身に付けさせていく。 ・文章題を図示し、イメージをもたせるようにする。また、問題提示を易から難へ進めるよう具体的に教材の精選をしていく。</p>	改善状況 ◎○△
第2学年	<p>○読み解く力(読み取る力) ・時刻と時間を正確に読むことや長さや水のかさの量感、単位換算が苦手な児童が多い。 ・答えは分かるが、答えを導く過程を順序立てて説明したり、図を使って表したりすることが難しい。</p>	<p>○読み解く力(読み取る力) ・生活場面の中で学習したことを生かせるように、日常的に時刻や時間、長さや水のかさを意識した活動を取り入れる。 ・キーワードとなる言葉を確認したり、具体物や図などを効果的に用いたりする。 ・自分の考えを友達に説明する機会を多く設定する。</p>	
第3学年	<p>○読み解く力(取り出す力) ・ベーシックドリル診断テストでは、問題文を読み取り、図に表すことができた児童が17%であった。</p>	<p>○読み解く力(取り出す力) ・必要な情報を線で引くなど、必要な言葉や数値が分かりやすくなるようにする。既習の図の作成の仕方を振り返る。</p>	
第4学年	<p>○読み解く力(読み取る力) ・文章問題を正しく読み取り、イメージしながら図に表すことや、説明すること、友達の図や式を見て考えを読み取ることが苦手な児童が多い。 ・単純な四則計算能力は高いが、角度や小数などでは、立式・計算することが難しくなる。</p>	<p>○読み解く力(読み取る力) ・図に表したり文に表したりして自力解決する活動や、友達に説明したり友達の考えを読み取ったりする機会を多く設定する。 ・反復練習を多くし、図形や小数、大きな数に慣れさせる。</p>	
第5学年	<p>○読み解く力(読み取る力) ・文章問題を正しく読み取り、自分の考えを表現することに苦手意識がある児童が多い。</p>	<p>○読み解く力(読み取る力) ・ICT機器を活用しながら、自分の考えを表現する手段を増やしていく。 ・多様な考えに触れる機会を設定し、多面的・多角的に考えられるようにする。</p>	
第6学年	<p>○読み解く力(解決する力) ・児童によって既習内容の定着率に大きな差がある。 ・既習内容を活用することに課題がある。 ・文章問題を正しく読み取り、イメージしながら図に表すことや、説明すること、友達の図や式を見て考えを読み取ることが苦手意識が児童が多い。</p>	<p>○読み解く力(解決する力) ・既習内容を復習する時間を学年全体で設ける。 ・既習内容を日常生活や社会生活で活かせる活動を行う。 ・問題文の意図や内容を意識させる。具体的には、割る数が割られる数よりも大きい数字であっても、単位を変えたり、小数・分数で表せることを理解させたりする。</p>	

全教科についての指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

教科名		理 科	
	指導方法の課題分析 (学習における児童の実態等)	具体的な授業改善策	改善状況 ◎○△
第3学年	○読み解く力（取り出す力） ・評価テストでは、思考・判断・表現の得点が80%以下の児童が約10%いる。対象物を観察し、必要な情報を観察カード等に正確に記入することが難しい児童がいる。	○読み解く力（取り出す力） ・観察カード等に記入するときに、前後左右・数・大きさなどを正確に確認するように伝える。	
第4学年	○読み解く力（解決する力） ・既習事項や生活体験を生かして予想をたてたり、実験の結果がなぜそうなるかについて論理的に考えたりすることが課題である。	○読み解く力（解決する力） ・予想や考察の際に、根拠を明確にしなが文章や言葉で表現する機会を増やし、論理的に説明する力を身に付けられるようにする。	
第5学年	○読み解く力（解決する力） ・既習事項や生活体験を生かして、予想をたて、それを基に解決の方法を考えられるようになることが課題である。	○読み解く力（解決する力） ・結果を整理し、考察し、結論をもとめる場面では、観察、実験の結果を表やグラフに整理し、予想や仮説と関係付けながら考察を言語化し、表現することを一層重視する。	
第6学年	○読み解く力（解決する力） ・生活と関連させて考えたり、学んだことをもとに自然事象についての理解を深めたりすることが課題である。	○読み解く力（解決する力） ・日常生活と結びつけて問題設定をしたり、学んだことがどこに生かされているのかを確認したりする。また、グループごとの結果を全体で共有する時間を設けたりすることで、様々な考え方や結果から結論への思考の筋道を指導し、自ら考察し結論を導き出せるようにしていく。	

全教科についての指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

教科名		生活科	
	指導方法の課題分析 (学習における児童の実態等)	具体的な授業改善策	改善状況 ◎○△
第1学年	<p>○読み解く力（取り出す力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録する活動を大切にし、気付きを整理して互いに発表しあう中で、観察物への興味を広げられるようにしている。さらに、季節の移り変わりや人とのかかわりに興味をもって、進んで取り組む態度を育てることが課題である。 	<p>○読み解く力（取り出す力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語の「書く」「話す・聞く」学習と関連させて、気付きや思いを表現できるようにする。 ・自分の気付きや思いを友達と伝え合う活動を取り入れ、考えを深めたり共感したりできるようにする。 ・校外学習や昔遊びなどの活動を通して、身近な人と交流できるようにする。 	
第2学年	<p>○読み解く力（取り出す力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町探検などの校外学習を通して、公共物や公共施設について考え、公共物や公共施設を大切に、安全に気を付けて正しく利用しようとしているが、そこでの学びや気付きを表現し、共有することに課題のある児童が多い。 	<p>○読み解く力（取り出す力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気付きや思いを友達と伝え合う活動を取り入れ、考えを深めたり共感したりできるようにする。 ・国語の「書く」「話す・聞く」と関連させて、学んだことをまとめ、表現できるようにする。 	

全教科についての指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

教科名		音 楽	
	指導方法の課題分析 (学習における児童の実態等)	具体的な授業改善策	改善状況 ◎○△
第1学年	○読み解く力（取り出す力） ・音楽を体で感じ取りながらリズムや旋律の流れにのり曲想を捉えようとする姿が見られる。歌詞の表す情景や気持ちとの関わりを手掛かりに曲想を関連付け、表現に生かす力は課題がある。	○読み解く力（取り出す力） ・児童が思いをもって音楽の活動に取り組むことによって、音楽表現が高まったことを価値付け、全体で共有していく。	
第2学年	○読み解く力（取り出す力） ・音楽を体で感じ取りながらリズムや旋律の流れにのり曲想を捉えようとする姿が見られる。感じ取ったことを生かし、曲想と曲の特徴を捉えた表現の工夫につなげていくことに課題がある。	○読み解く力（取り出す力） ・児童が思いをもって音楽の活動に取り組むことによって、音楽表現が高まったことを価値付け、全体で共有し、表現について自分の思いや意図をもつことにつなげていく。	
第3学年	○読み解く力（読み取る力） ・曲から感じ取ったことや想像したことを伝え合い、どのように演奏するかについて自分なりの思いや意図をもっている。曲の特徴を捉えた表現の工夫につなげていくことには課題がある。	○読み解く力（読み取る力） ・楽譜をよく観察し、なぜそのように感じたのか、根拠を明確にするための話し合い活動場面を充実する。	
第4学年	○読み解く力（読み取る力） ・歌詞や速さを手掛かりに曲から感じ取ったことや想像したことを伝え合い、どのように演奏するかについて自分の思いや意図をもっている。他の音楽を形づくっている要素を捉えて表現の工夫につなげていくことに課題がある。	○読み解く力（読み取る力） ・他の音楽を形づくっている要素(強弱、仕組み等)について焦点化している児童を価値づける。また、自らの思考を広げたり深めたり、吟味したりするために題材計画に言語活動場面を意図的に位置付ける。	
第5学年	○読み解く力（読み取る力） ・歌詞を手掛かりに曲から感じ取ったことや想像したことを伝え合うことはできている。表現するための技能を習熟している児童が多い。思いや意図をもち表現の工夫をするために知識や思考を整理していくことに課題がある。	○読み解く力（読み取る力） ・音楽を形づくっている要素を言葉で掲示したり板書したりして視覚化する。知識を積み重ねていき、表現に生かしていけるようにする。表現する場面では、少人数や習熟度、目的別等、意図的にグループを組み、思考したことを友達と協働しながら実現できた喜びを感じられるように学習形態を工夫する。	
第6学年	○読み解く力（読み取る力） ・歌詞や旋律を手掛かりに曲から感じ取ったことや想像したことを伝え合い、どのように演奏するかについて自分の思いや意図をもっている。自分の思いや意図に自信がもてず、全体に共有することに抵抗感がある児童が多い。	○読み解く力（読み取る力） ・タブレット端末を活用し、個人の思いや意図を共有する場面を充実させる。自己と他者の考えを比較し、様々な価値観を認め合えるように声掛けをしたり、音楽的な根拠に気付いている児童を価値付けたりする。	

全教科についての指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

教科名		図画工作	
	指導方法の課題分析 (学習における児童の実態等)	具体的な授業改善策	改善状況 ◎○△
第1学年	○読み解く力（解決する力） ・はさみやのりなどの用具をうまく使えない児童がいる。 ・どう表現していいか悩んでしまう児童がいる。	○読み解く力（解決する力） ・はさみやのりなどを楽しく遊びながら使える題材を設定し、用具の使い方を身に付けさせる。 ・導入などで材料と触れ合う体験を多くさせ、その触り心地やできた形から発想できるようにする。	
第2学年	○読み解く力（解決する力） ・アイデアを表現するために、材料の使い方やはさみやのりの扱い方などを体験することが必要である。 ・題材をもとに表現することに課題がある児童がいる。 ・友達の作品のよさや自分との違いに気付くことができるようになってきた。	○読み解く力（解決する力） ・材料や用具の使い方を正しく覚え、そのよさを生かしていけるよう、教材を準備しておく。また、用具を使う時間を確保する。 ・題材について説明する時間を確保し、実物を例示することで取り組みやすいようにする。 ・作品を鑑賞する時間をもち、友達の作品のよさやおもしろさに気付けるようにする。	
第3学年	○読み解く力（解決する力） ・全体的に表現活動への意欲が高いが、どう表現していいか悩んでしまう児童もいる。	○読み解く力（解決する力） ・導入などで材料と触れ合う体験を多くさせ、その触り心地やできた形から発想できるようにする。	
第4学年	○読み解く力（解決する力） ・全体的に表現活動への意欲が高く、粘り強くよりよいものをつくらうとする児童が多い。一方、深まりなく飽きてしまう児童もいる。	○読み解く力（解決する力） ・使える材料を小出しにしたり、新たな発想ができる声かけをしたりと、飽きさせない工夫する。	
第5学年	○読み解く力（解決する力） ・全体的に表現活動への意欲が高いが、表現したいことに合わせて材料や用具の使い方を工夫しようという姿勢に課題がある。	○読み解く力（解決する力） ・材料や用具についての表現方法を少し詳しく提示し、色々な表現方法があることを伝える。また、工夫された表現を積極的に紹介したり、お互いの作品を見合ったりする活動を取り入れ、多様な表現方法があることを伝える。	
第6学年	○読み解く力（解決する力） ・自分の思いを表す、そのために考える、構想しようとする姿勢に課題がある。	○読み解く力（解決する力） ・導入でそのテーマについて考えたり構想したりする時間をしっかり確保し、ゲーム的な要素などを取り入れ、楽しみながら構想できるようにする。	

全教科についての指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

教科名	家庭科
-----	-----

	指導方法の課題分析 (学習における児童の実態等)	具体的な授業改善策	改善状況 ◎○△
第5学年	<p>○読み解く力（解決する力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭科の学習によって、自分の生活を振り返り衣・食（・住）について改めて気付くことができた。学習した内容を生活に生かす意識をもたせられた。 	<p>○読み解く力（解決する力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容をさらに生活に生かすために、「自分でやってみる」という経験をたくさん見付けられるようにする。例えば、ボタン付けや、効率的な掃除、栄養バランスを考えた食事の選択、体調管理のための衣服選択など。 	
第6学年	<p>○読み解く力（解決する力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら問題を見出し、課題を設定することが難しい。また、一人一人の経験値が異なるため、技能面での個人差が大きい。更に、学習が、体験で終わってしまい、日常生活に生かされていることが少ない。 	<p>○読み解く力（解決する力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容と日常生活を重ねて学習に取り組ませ、自分自身の問題として解決方法を考えさせる。経験値が低い児童は基礎的な課題、高い児童は更に創意工夫をするなど個に応じた課題が立てられるようにする。 	

全教科についての指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

教科名		体 育	
	指導方法の課題分析 (学習における児童の実態等)	具体的な授業改善策	改善状況 ◎○△
第1学年	○読み解く力（解決する力） ・友達と楽しく活動できるが、ルールを守りながら、グループで力を合わせて活動することはまだ十分ではない。	○読み解く力（解決する力） ・すべての児童が理解することができるルールを設定し、分かりやすく提示する。 ・友達と協働して取り組むためのめあてを設定して、活動の振り返りを行えるようにする	
第2学年	○読み解く力（解決する力） ・友達と運動遊びを工夫して行おうとする意欲があり、楽しく活動に取り組んでいるが、ルールが理解できなかつたり、勝ち負けにこだわりすぎて守れなかつたりすることがある。	○読み解く力（解決する力） ・全員が理解できるように、児童のレベルにあったルールを分かりやすく提示する。 ・勝敗を受け入れ、友達と仲良く運動遊びを楽しめるように、児童の実態に合わせたゲームを取り入れる。	
第3学年	○読み解く力（読み取る力） ・技能のポイントは学習しているが、ポイントと自分や友達とを比較して違いを読み取ることが十分でない。	○読み解く力（読み取る力） ・タブレットパソコンを用いて、映像（技能のポイント）と対象者を並べて比較できるようにする。録画をすることで、対象者自身がすぐに比較できるようにする。	
第4学年	○読み解く力（解決する力） ・活動をよりよくするための工夫を考えたり、仲間同士で助言し合ったりする力がまだ十分ではない。	○読み解く力（解決する力） ・学習カード等を活用し、めあてをもって取り組ませる。 ・ペアやグループで活動する場を設定し、仲間とのかかわりの中で活動をよりよくする工夫を考えられるようにする。	
第5学年	○読み解く力（解決する力） ・正しい技能を身に付けるための運動のポイントを見合ったり、助言したりする力が十分ではない。	○読み解く力（解決する力） ・学習カードに技能のポイントを明確に記載して、確認できるようにする。 ・個人カードで学習したことを振り返られるようにする。	
第6学年	○読み解く力（解決する力） ・仲間同士の教え合いが上達している。 ・経験の少ない運動に対して、苦手意識が強い。	○読み解く力（解決する力） ・学習の導入時に抵抗感を少なくするようにゲーム的な要素を取り入れる。	

全教科についての指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

教科名		外国語	
	指導方法の課題分析 (学習における児童の実態等)	具体的な授業改善策	改善状況 ◎○△
第5学年	<p>○読み解く力（取り出す力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習に対する意欲は高く、積極的に英語で発音したり、友達と関わろうとしたりする児童が多い。 ・語彙力や理解力などに個人差が大きく見られる。文章の解釈に差があり、何を求められているのか把握できていない児童が多い。 	<p>○読み解く力（取り出す力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、日付、天気、気持ちなどについては今後も毎時間取り組み表現力をつける。 ・理解が不十分な児童には、個別指導をしたり、近くでフォローしたりしながら発表させるなどの指導を行う。 	
第6学年	<p>○読み解く力（取り出す力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTの言葉を聞き取り、発音を真似して積極的にコミュニケーションを図ろうとしている児童が多い。 ・児童によって表現力や語彙力の大きな開きがあり、学習活動によってはその差が顕著に出るときがある。 	<p>○読み解く力（取り出す力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続きALTとのコミュニケーションを活発にさせていき、積極的に外国語や外国の文化に関わろうとする態度を育てる。 ・個別指導を繰り返したり、画像・動画などを積極的に活用したりして、表現力や語彙力を培う。児童間の教え合いもさせていきたい。 	